

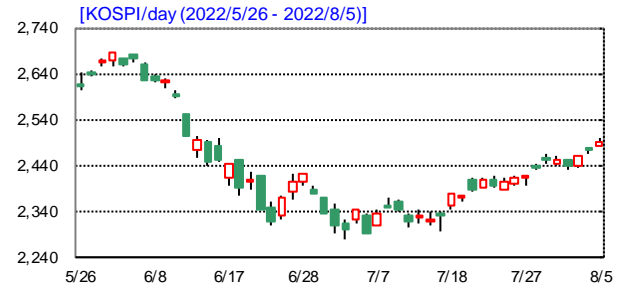


【韓国】 総合指数は週間で1.6%高と3週続伸、今週は2500ポイントを試すか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.6%高と3週続伸。週を通じ、米株式相場が上昇すると韓国市場でも運用リスクを取りやすくなった投資家が買いを入れる展開だった。石油相場の下落傾向を背景に、ウォン高やコスト低下をめぐる期待感が高まる中で外国人投資家の買いも続き、相場を押し上げた。週明け1日は7月の韓国輸出統計の堅調な内容が好感され、小幅に6日続伸。2日はペロシ米下院議長の台湾訪問で米中の緊張が高まるとの懸念から反落したが、3日以降はペロシ氏訪台に反発する中国の措置は限定的との見方が広がった。5日は終値ベースで6月14日以来の高値で引けたものの、心理的節目の2500ポイントには届かなかった。今週は2500ポイントを試すか。10日に発表される中国の7月の主要経済指標が注目材料になりそうだ。

▼指数チャート

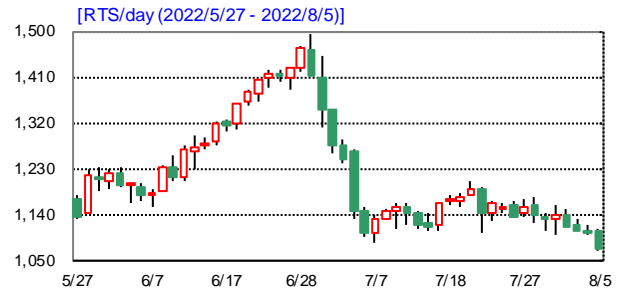


【ロシア】 RTS 指数は週間で5.0%安と大幅に3週続落、今週は引き続き軟調か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で5.0%安と大幅に3週続落。エネルギー株の下落が重しとなる中、友好国の非居住者による株式取引の再開見通しも売り材料となった。週明け1日に前週末比0.8%高と反発したが、その後は5日まで4日続落。台湾を巡る地政学リスクが意識されたほか、原油安を受けたエネルギー株の下落や、友好国の非居住者の株式取引が再開されるの見通しも売り材料視された。ただ、モスクワ証取は5日、こうした取引の再開が遅れると発表している。個別銘柄では、資源のノリリスク・ニッケルが10.9%安、エネルギーのスルグトネフテガスが9.9%安、ガスプロムが9.6%安、ロスネフチが8.6%安、金融のズベルバンク・オブ・ロシアが7.2%安と時価総額上位の銘柄が軒並み安となった。今週は引き続き軟調か。

▼指数チャート



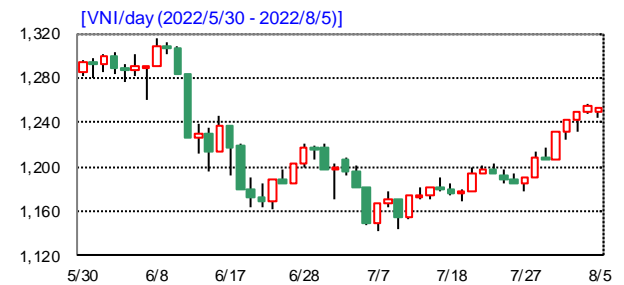
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で3.8%高と大幅に4週続伸、今週は引き続き堅

調か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で3.8%高と大幅に4週続伸。先高観を背景に証券、金融、不動産などの主力銘柄が軒並み上昇した。週明け1日は前週末比2.1%高と大幅に反発。テクニカル・チャートで買いシグナルが点灯したとの見方から証券株が軒並み高となったほか、建築資材株も大幅高となり指数を押し上げた。先高観が強まったことで4日まで4日続伸。前週に1カ月半ぶりに1200ポイントを回復した指数は4日の場中に1257.38ポイントまで上値を伸ばし、6月13日以来の戻り高値を更新した。個別銘柄では証券のSSI証券が16.2%高と急伸し、金融のベトコムバンクが9.8%高、ベトインバンクが6.6%高、不動産のノー・バー・ランド・インベストメントが8.6%高、鉄鋼のホア・ファットが8.4%高。今週は引き続き堅調か。

▼指数チャート

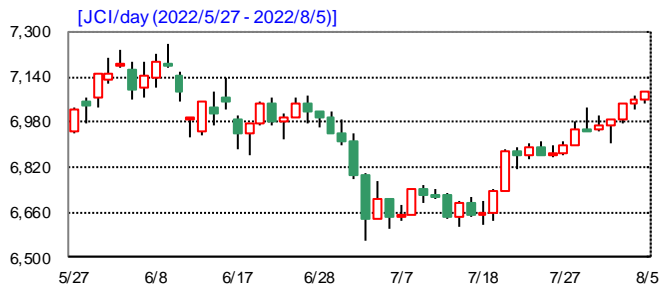


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.9%高、4-6 月期の GDP は前年同期比 5.4%増

ジャカルタ総合指数は週間で 1.9%高と 3 週続伸。じりじりと上値を広げ、週末まで 5 日続伸した。週初の 1 日は、7 月の CPI 上昇率が前年同月比 4.9%と 14 年 12 月以来の高い伸びとなったものの、6 月の外国人訪問者数が 34 万 5000 人に急回復した効果などで指数は反発。2 日に続伸すると、3 日は引け際の買いが奏功し、終値で約 5 週間ぶりに節目の 7000 ポイント台に乗せた。週後半は好地合いが続く中、終始この水準を維持。5 日は 4-6 月期の GDP が前年同期比 5.4%増と市場予想から上振れたことが好感され、終値で 8 週間ぶりの高値を更新して引けた。今週は 9 日に 6 月の小売売上高が発表される予定。

▼指数チャート

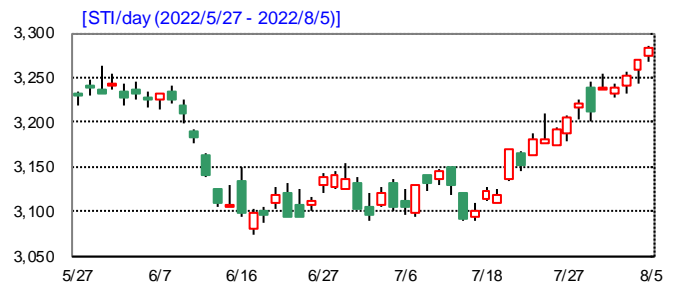


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 2.2%高、週末まで 5 日続伸と好調

ストレーツタイムズ指数は週間で 2.2%高と 3 週続伸。終始 3200 ポイント台で推移し、週末まで 5 日続伸と好調だった。週初の 1 日は、前週末の NY ダウが上昇した流れを引き継ぎ反発。3 日はペロシ米下院議長の台湾訪問を受けた米中対立への投資家の警戒感がやや後退したことで買われると、4 日は米サプライマネジメント協会 (ISM) が前日に発表した 7 月の非製造業景況感指数が市場予想から上振れした効果で上値を広げた。5 日は原油価格の下落が買い材料となり、終値で 3 カ月ぶりの高値を更新している。今週は 11 日に 4-6 月期の GDP 確定値が発表される予定。9 日は独立記念日のため休場となる。

▼指数チャート

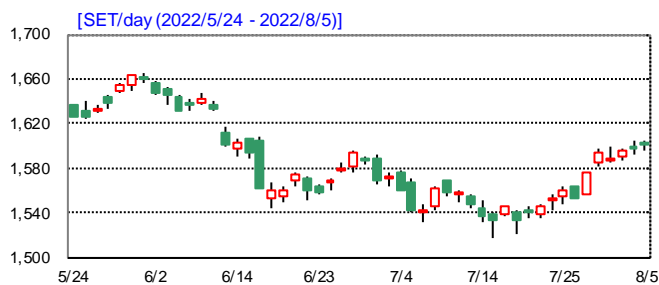


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.6%高、今週は 10 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催

SET 指数は週間で 1.6%高と 3 週続伸。週末に終値で約 7 週間ぶりに 1600 ポイント台を回復した。連休明けの 1 日は、景気悪化を受けた米国の利上げペース減速に対する期待感の高まりが買い材料となり、指数は前営業日比 1.1%高と続伸。2 日はペロシ米下院議長の台湾訪問を目前に控え、米中関係悪化への警戒感が高まった影響で反落した。ただ、3 日に買い戻されると、週後半は 1600 ポイントを挟んでもみ合い、5 日まで 3 日続伸して引けている。今週は 10 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定で、0.25%の利上げが実施されるとの見方が優勢。12 日は母の日 (大后誕生日) のため休場となる。

▼指数チャート

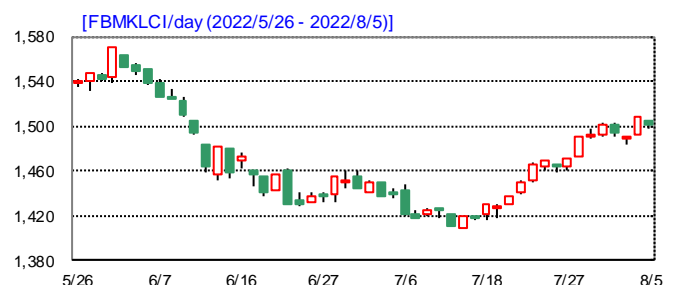


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.6%高、今週は 12 日に 4-6 月期の GDP 発表

クアラルンプール総合指数は週間で 0.6%高と 3 週続伸。方向感に乏しく不安定な値動きが続いた。週初の 1 日は、プランテーション株とエネルギー株が買われ、指数は終値で約 7 週間ぶりに心理抵抗線の 1500 ポイント台に到達。ただ、2 日に利益確定売りが出て 5 営業日ぶりに反落すると、3 日は引け際に買われたものの補えず続落した。4 日は前日の NY ダウが上昇した流れを引き継ぎ、前日比 1.1%高と 3 日ぶりに反発したが、5 日は銀行株の一角が売られ反落して引けている。今週は 9 日に 6 月の鉱工業生産、12 日に 4-6 月期の GDP が発表される予定で、市場予想を上回れば株式相場の追い風になりそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。